

総合計画後期基本計画への意見募集結果

1	第5章 新時代を拓き生き抜く人材を育成するうわじま 4 文化芸術の振興と文化財の保存・整備・活用 (3) 文化施設の整備充実	自然史博物館について
2	第1章 活力ある産業が展開するうわじま 5 観光の振興 (1) 観光団体の充実強化 (6) 市民のホスピタリティの向上  第6章 市民と共に歩むうわじま 3 コミュニティの育成 (1) コミュニティ活動の活性化支援 4 市民と行政との協働体制の確立 (4) まちづくりの担い手の育成と活動の支援	ボランティアガイドについて

内容	第5章 新時代を拓き生き抜く人材を育成するうわじま 4 文化芸術の振興と文化財の保存・整備・活用 (3) 文化施設の整備充実
意見	<p>新たな文化施設の整備として、美術館の次に「・自然史博物館」を表記いただくよう改正案を提案します。</p> <p>【提案理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然史博物館設立については市議会で採択（H10）されており、H14.1 に天神小内に自然史博物館資料展示室を開設しているが常時開館ができにくい（学校管理下にあるため）、施設が狭く博物館施設にほど遠い。</li> <li>・施設のもつ意味については別添資料に述べている。</li> <li>・JR 横の市有地の活用を願っている。</li> </ul>
対応	<p>・自然史博物館の設置につきましては、平成 10 年に市議会で採択されているところですが、厳しい財政状況の中で、天神小学校校舎の一部に資料展示室を設け運営していただき現在に至っているところです。</p> <p>ご指摘にもありますように、学校管理下の施設ということもあり、常時開館できないことや増える資料により展示スペースが狭くなるなど、ご不便をおかけしているところですが、単独施設の設置につきましては引き続き大変厳しい状況にあります。</p> <p>貴重なこの地域の資料を保存・保管するとともに、一人でも多くの市民の方々に公開するための方策が必要だと痛感しておりますが、当面は学校施設のほかに既存の文化施設等での公開等をお願いせざるを得ません。</p> <p>新たな文化施設の整備の折には、自然史博物館の併設を念頭において検討したいと思いますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、基本計画を次のとおり修正いたします。</p> <p>施策の内容</p> <p>5-4-3 文化施設の整備充実</p> <p>既存の文化施設の整備充実及び老朽化対策を計画的に推進するとともに、高度化、多様化する市民ニーズに対応し、<b>総合博物館</b>などの新たな文化施設の整備について検討します。</p>

<p>内容</p>	<p>第1章 活力ある産業が展開するうわじま  5 観光の振興  (1) 観光団体の充実強化  (6) 市民のホスピタリティの向上</p> <p>第6章 市民と共に歩むうわじま  3 コミュニティの育成  (1)コミュニティ活動の活性化支援  4 市民と行政との協働体制の確立  (4) まちづくりの担い手の育成と活動の支援</p>
<p>意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会の抜本的な改革  きさいや広場の運営には熱心に取り組んでるものと思うが、こと観光情報センターとしての機能は全く果たせていないと思える。きさいや広場担当と観光担当がきちんと区別されていないためか、観光担当の職員がインフォメーションに専念していない。  職員全員が机に向かい仕事をしているので、旅行者が問合せにくく、聞かれたことだけに応える、資料を出すというスタイルからは、観光客を受け入れようという姿勢（ホスピタリティー）がみられない。  宇和島駅内のセンターには多くの旅行者の問い合わせがあるのは、場所ということもあるが、何より担当者が相手に面と向かって対応していることがよいのではないかと。  ぜひともインフォメーションセンターの機能が発揮されるように努力してほしい。</li> <li>・観光ボランティアガイドの育成と支援  宇和島市内でこれまでボランティアガイドが長続きしないのには何か問題があるのではないかと。  我々がボランティアガイドを設立しようとした当初に関係者から、その一歩を踏み出すのに躊躇させるような発言を受けた。また、ボランティアガイドに消極的な姿勢がみられた。そして、パーフェクトな観光スポットの知識やガイドの話術を先に習得してからしてほしいと受け止めざるを得ない態度は頂けない。われわれはそれなりのポリシーを持って活動してきている。  ボランティアに求める敷居が高いからなかなか育たないのではないかと。まずは始めて、そして活動の中で質を高めていくことが大切ではないだろうか。  宇和島市自らが率先してボランティアガイドを募集・育成してその活動を支援してほしい。  宇和島市の施策の大きな柱の一つである観光都市として生きるというものがあるが、そのためにも旅行者へのホスピタリティーとしてのボランティアガイドの活用を考えられてはいかかがか。</li> <li>・ボランティアと関係機関との連携の一元化  我々の活動から得られたものを今後の観光行政にフィードバックしてほしい、また、そのような場がぜひともほしい。民間の目を見た、感じたものを活用してほしい。  他市のような（今治・松山・・・）ボランティアが所属する組織がほしい。  ボランティアをしたいという思いの市民（リタイヤした人）は結構いるのではないだろうか。「したいがどうしたらいいのか」、「どこに問合せればいいのか」などなど、それに応える部局はできないものだろうか。  ボランティアを募集し、育成し、支援する。そのためにも組織化がいるのではないかと</li> </ul>

対応	<p>ろうか。</p> <p>・ボランティアガイドについては、宇和島市観光協会が交通整理をするということで過去に観光協会、市商工観光課、うわじま道先案内人の会、拓己塾、宇和島場所文化創造機構などの各代表が集まり、今後のボランティアガイドの育成などについて話し合いを行いました。</p> <p>しかしながら、観光協会が道の駅「きさいや広場」内に宇和島観光情報センターの機能も兼ね備えて併設されているため業務が混同することもあり、十分に本来の役割を果たせていないのではないかと思います。</p> <p>またガイドの需要が多いということは確かであり、昨年開催した「いやし博」で実行委員会がボランティアガイドを募集し育成するとのことでしたが、全く機能していなかったことも負担が大きくなったところの要因ではないかと考えています。</p> <p>市内には、ボランティアガイドとして活動しているグループが複数あります。うわじま道先案内人の会、宇和島案内屋、拓己塾、SGG、吉田町並み案内、きてみないや三万石陣屋町散策、津島岩松案内、段畑を守ろう会、旧庄屋毛利家を守る会などがあり、こちらとしても是非情報交換等の連携を図りながら活動を展開していただきたいと考えています。</p> <p>このような「つなぎ」の役割は、観光協会はもちろん市商工観光課においても行えるのでよければ相談していただきたいと思います。</p> <p>今後においても、担当課の一元化というところでは、情報発信や情報収集の窓口でありボランティアガイド育成事業を受け持つ観光協会が適任であると考えます。まだまだ課題は残りますが、観光協会を中心にテコ入れを図り活動を推進してまいりたいと考えております。</p> <p>おもてなしの一つに観光ガイドを考えることは非常に良いことであると思えますとともに、今回のように観光客と直接お話をしている皆さんの声が聞けることは大変ありがたく貴重なことであると感じております。</p> <p>行政としても是非皆さんの意見を観光行政にフィードバックさせる仕組みを最大限活用しながら協力連携を図り、お客様の思い出に残る観光のお手伝いできればと期待しております。</p> <hr/> <p>・現在、宇和島市には行政とボランティア団体、ボランティア団体と市民などの間にたって中立的な立場で活動を支援する「中間支援組織」は存在しておらず、市内で活動されているボランティア団体の情報についても、市の各担当課において、それぞれが把握している現状にあります。</p> <p>市では、これからのまちづくりにおいて重要な担い手であるボランティア団体等の情報把握を企画情報課コミュニティ推進係において一元化し、団体の育成に努めるとともに、行政、団体、市民間での連携や、団体同士の交流を深め「協働のまちづくり」を推進していきたいと考えております。</p> <p>また、ご意見のありましたボランティアをしたいと考えられている市民の方々に対しても、情報が発信できるよう計画案に表記のとおり努めてまいりますので、よろしくお願いたします。</p>
----	--